



JFE

JFEグループ インベスターズ・ミーティング

2017年8月1日

JFEホールディングス(株)



目次

JFE

- JFEグループ2017年度第1四半期決算
及び 2017年度業績見通し

- 配当について

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

JFEグループ 2017年度 第1四半期決算

2017年度 第1四半期決算



(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減
売上高	7,406	8,468	1,062
営業利益	▲42	498	540
営業外損益	▲91	63	154
経常利益	▲133	562	695
特別損益	—	214	214
税前利益	▲133	777	910
税・非支配株主損益	16	▲205	▲221
親会社株主帰属 当期純利益	▲117	571	688

2017年度 第1四半期決算

セグメント別売上高/経常利益

(億円)

	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	増減
鉄鋼事業	5,284	6,364	1,080
エンジニアリング事業	804	723	▲81
商社事業	3,930	4,651	721
調整額	▲2,612	▲3,270	▲658
売上高	7,406	8,468	1,062
鉄鋼事業	▲203	486	689
エンジニアリング事業	18	4	▲14
商社事業	45	83	38
調整額	6	▲11	▲17
経常利益	▲133	562	695

JFEグループ 2017年度 連結業績見通し



2017年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2016年度実績		2017年度見通し	
	上期	年間	上期	年間
売上高(a)	14,995	33,089	17,000	
営業利益	40	967	1,000	
営業外損益	▲141	▲120	0	
経常利益(b)	▲101	847	1,000	2,000
特別損益	35	207	200	200
税前利益	▲65	1,054	1,200	2,200
税・非支配株主損益	▲18	▲375	▲350	▲700
親会社株主帰属 当期純利益	▲84	679	850	1,500

増減 上期	増減 年間
2,005	
960	
141	
1,101	1,153
165	▲7
1,265	1,146
▲332	▲325
934	821

ROS (b/a) ▲0.7% 2.6% 5.9%

6.6%



2017年度業績見通し

JFEホールディングス

セグメント別売上高/経常利益

JFE

対前年度

(億円)

	2016年度実績		2017年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
鉄鋼事業	10,724	23,491	13,000		2,276	
エンジニアリング事業	1,753	4,261	1,600		▲153	
商社事業	7,758	16,710	9,050		1,292	
調整額	▲5,240	▲11,373	▲6,650		▲1,410	
売上高	14,995	33,089	17,000		2,005	
鉄鋼事業	▲244	405	850	1,500	1,094	1,095
エンジニアリング事業	76	266	15	250	▲61	▲16
商社事業	76	218	150	280	74	62
調整額	▲10	▲42	▲15	▲30	▲5	12
経常利益	▲101	847	1,000	2,000	1,101	1,153

減価償却方法の変更について

JFE

JFEスチールの有形固定資産の減価償却方法

2016年度まで : 主として定率法



2017年度以降 : 定額法

■ 変更理由

- ・国内鋼材需要は、少子高齢化等を背景に将来的に大幅な増加が見込めない状況
- ・国内製鉄所では、粗鋼生産量の引き上げではなく製造基盤の強化(コークス炉の更新等上工程を中心とした設備更新)により安定した生産量の確保およびコスト削減を推進してきたこと

以上より、今後設備は安定的に稼働することが見込まれることから、費用の配分方法として定率法より定額法の方がより適切であると判断

■ 変更による2017年度収益への金額影響

従来の方法によった場合に対し+280億円程度の見通し

JFEスチール 2017年度 第1四半期決算

生産・出荷状況

JFE

	単位	2016年度					2017年度
		1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	実績	1Q 実績
単独粗鋼生産量	万t	694	706	712	702	2,814	712
連結粗鋼生産量	万t	752	762	766	761	3,041	753
単独鋼材出荷量	万t	626	634	643	668	2,570	614
鋼材輸出比率 (単独・金額ベース)	%	43.6	44.1	43.3	44.9	44.0	42.1
鋼材平均価格	千円/t	58.5	58.6	61.5	72.0	62.8	74.4
為替レート	円/ドル	111.1	103.5	106.1	114.3	108.8	111.5
期末為替レート	円/ドル	102.9	101.1	116.5	112.2	112.2	112.0

2017年1-3月⇒4-6月連結経常利益 +217億円内訳



JFE

単位:億円

JFEスチール	2016年 4-6月	2016年 7-9月	2016年 10-12月	2017年 1-3月	2017年 4-6月	対直前 四半期
経常利益	▲ 203	▲ 41	380	269	486	+ 217

- コスト削減 + 70
- 数量・構成 + 20
- 販価・原料 + 200
- 棚卸資産評価差等 ▲ 200
- 償却方法変更影響 + 42
- その他 + 85

合計 + 217

JFEスチール 2017年度 業績見通し

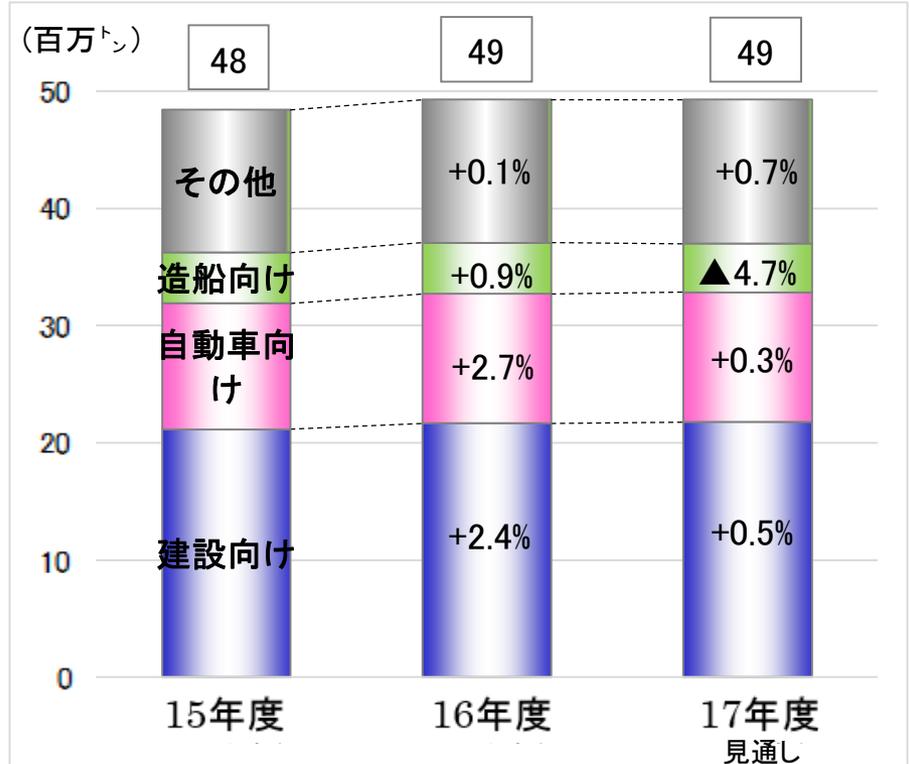


足下の事業環境認識(国内)

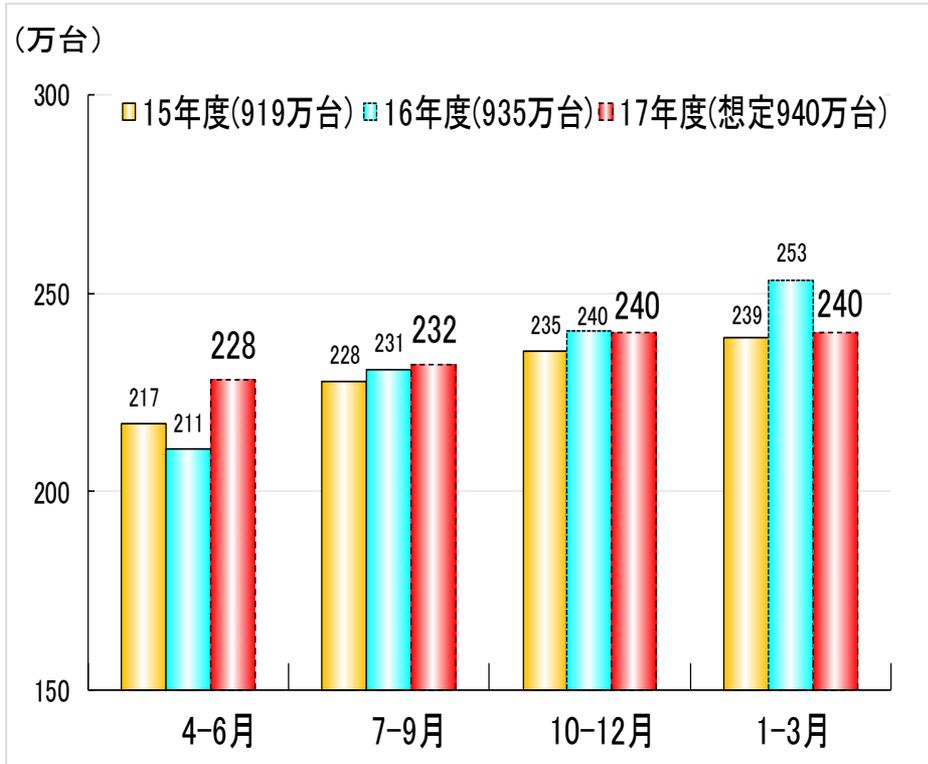
- 17年度の国内普通鋼材消費は前年度比で微増横ばいを見込む。
- 分野別の動向は、前年度比で造船向けが▲4.7%減少の見込みだが、自動車向けは+0.3%、建設向けは+0.5%と前年度に続き堅調な推移を見込む。

【普通鋼鋼材消費見通し】

分野別の比率は前年度比増減



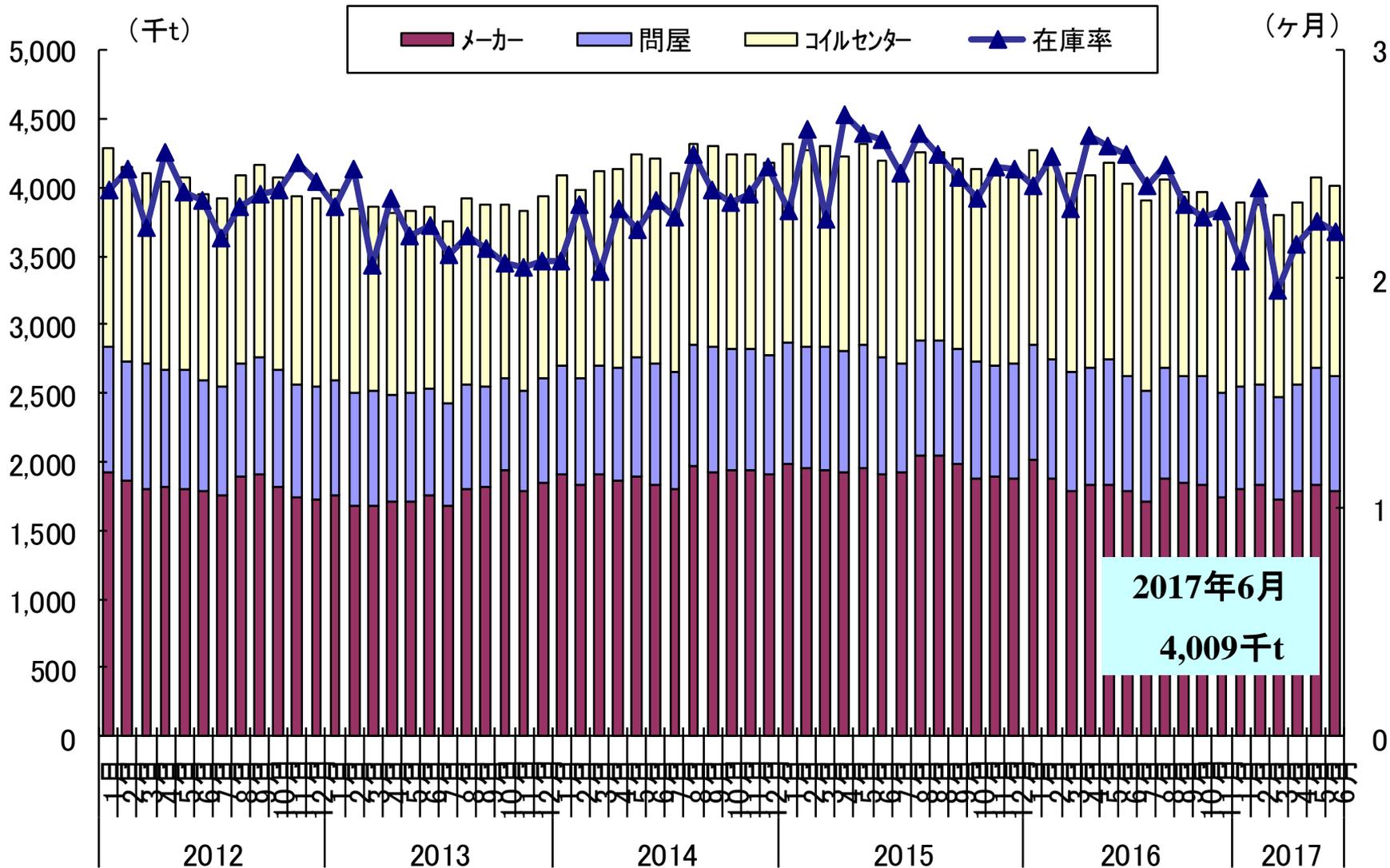
【自動車生産台数見通し】



国内販売環境

薄板 3 品在庫

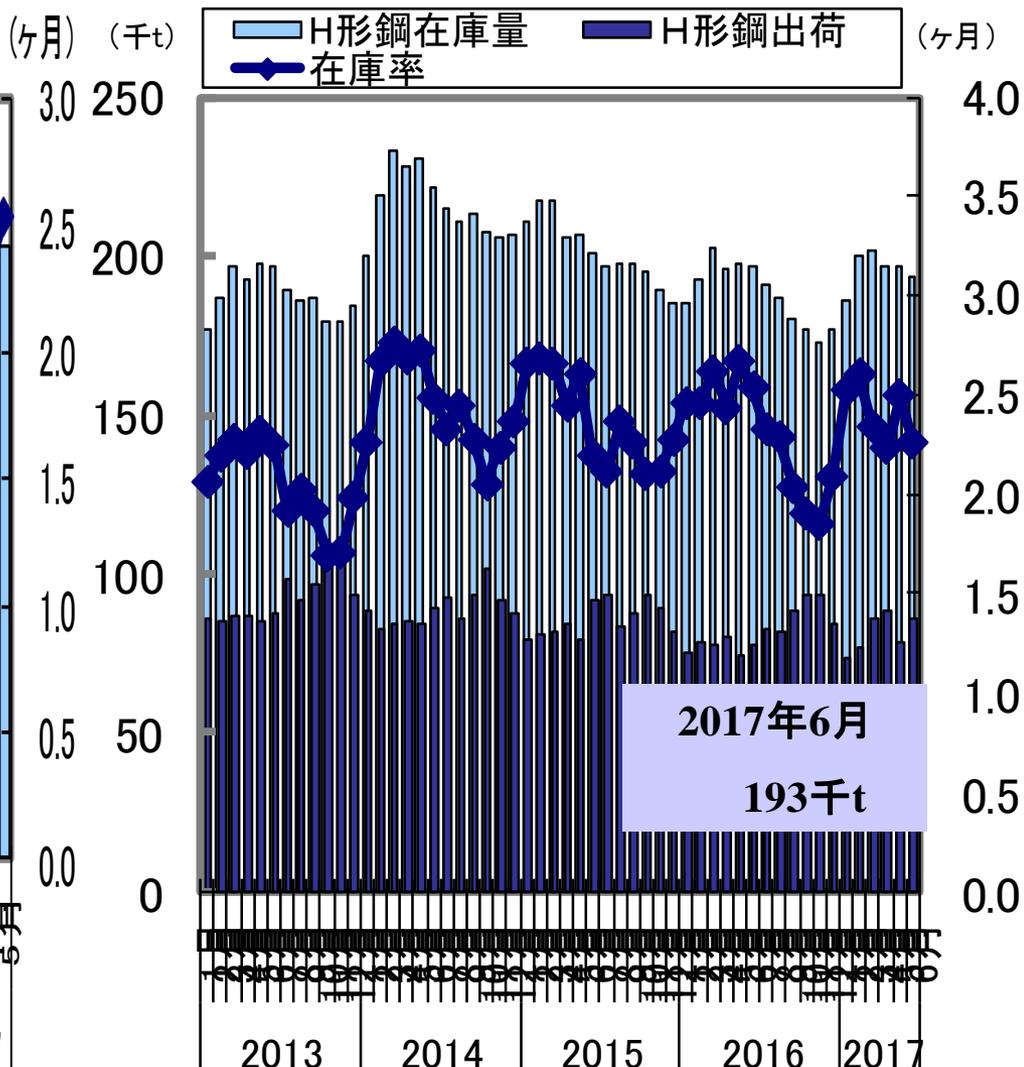
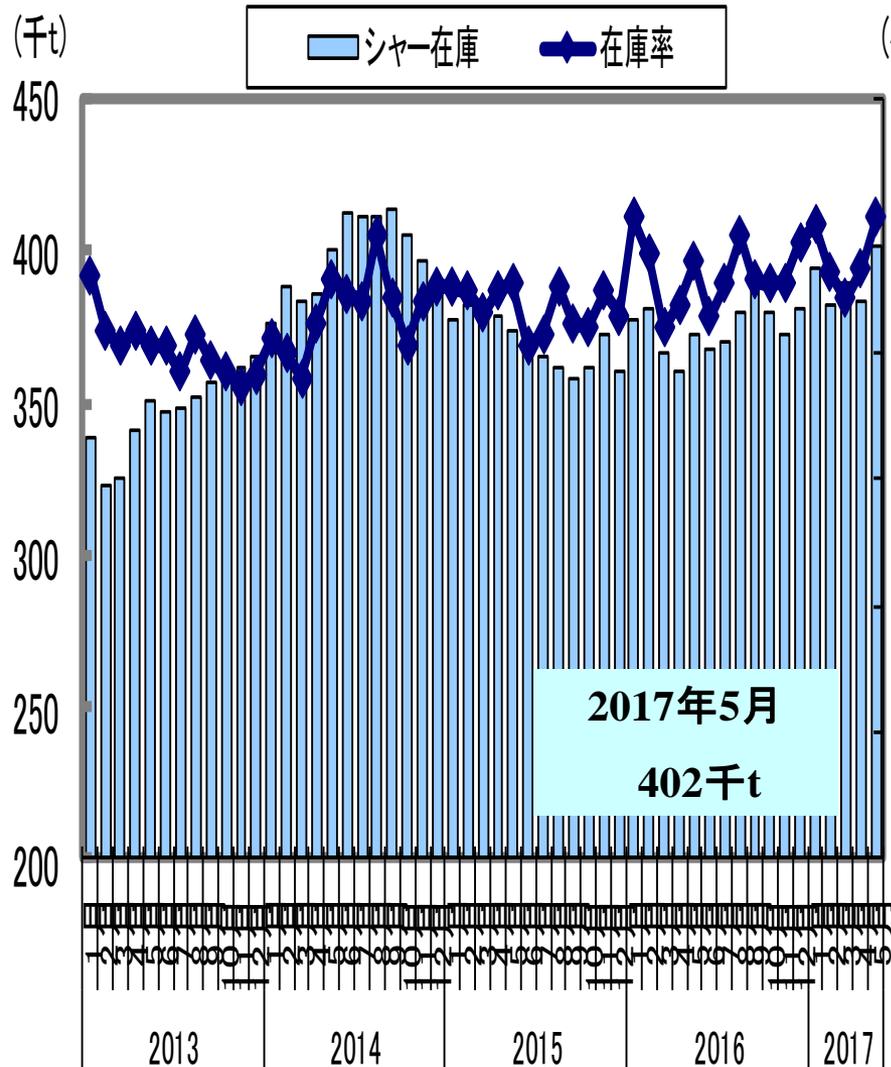
JFE





国内販売環境

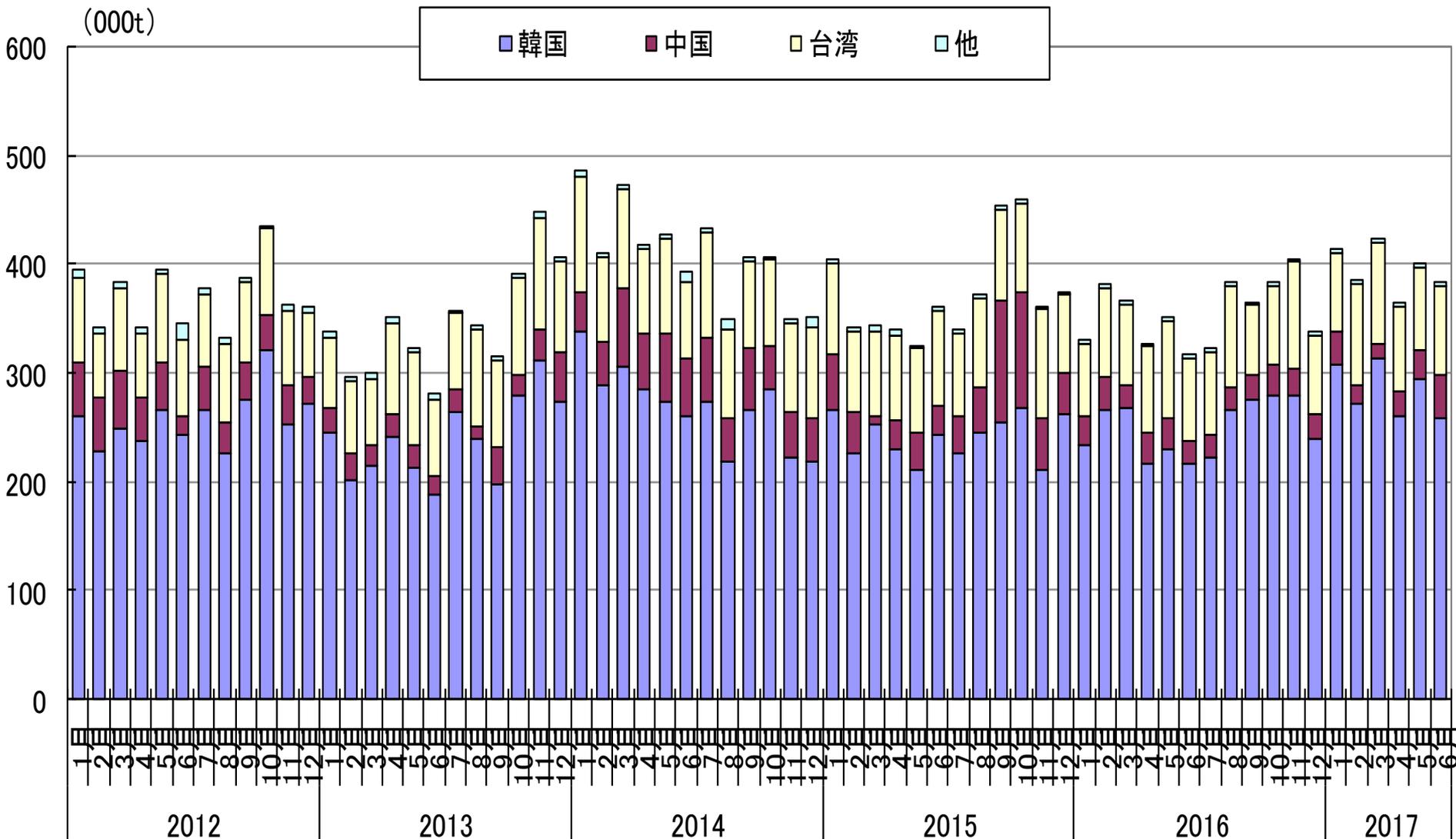
厚板シャー・H形鋼在庫



国内販売環境

輸入鋼材(普通鋼/国別)

JFE

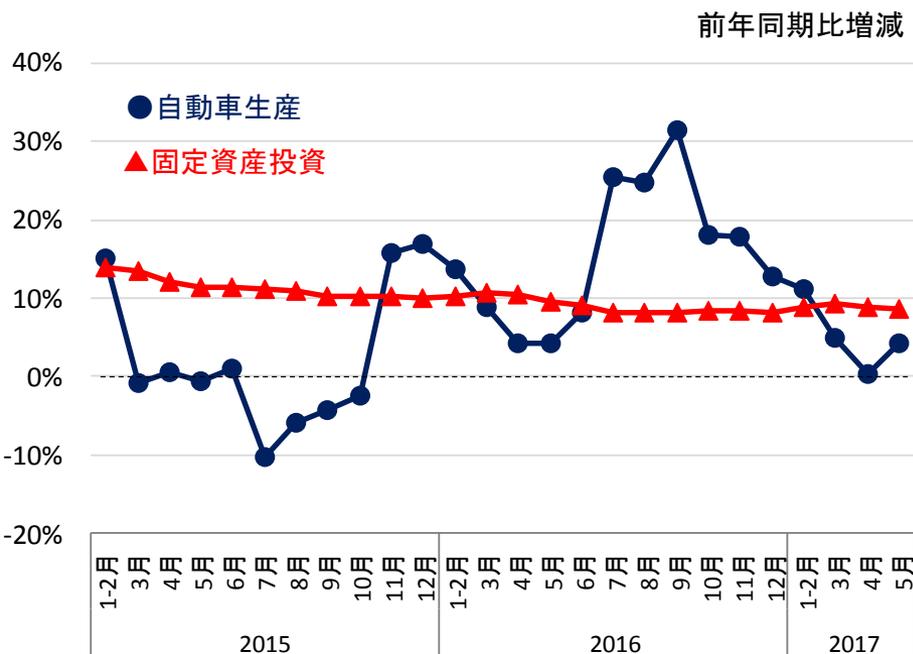


足下の事業環境認識(海外)

JFE

- 中国内需は1-5月の自動車生産が前年同期比+6.4%、固定資産投資が+8.6%となり、政府による景気下支えもあり引き続き堅調に推移
- 中国鋼材市況は、堅調な内需に加え、品質基準を満たさない違法鋼材である「地条鋼」の撤廃影響も受けて4月以降は上昇基調

【中国自動車生産・固定資産投資推移】



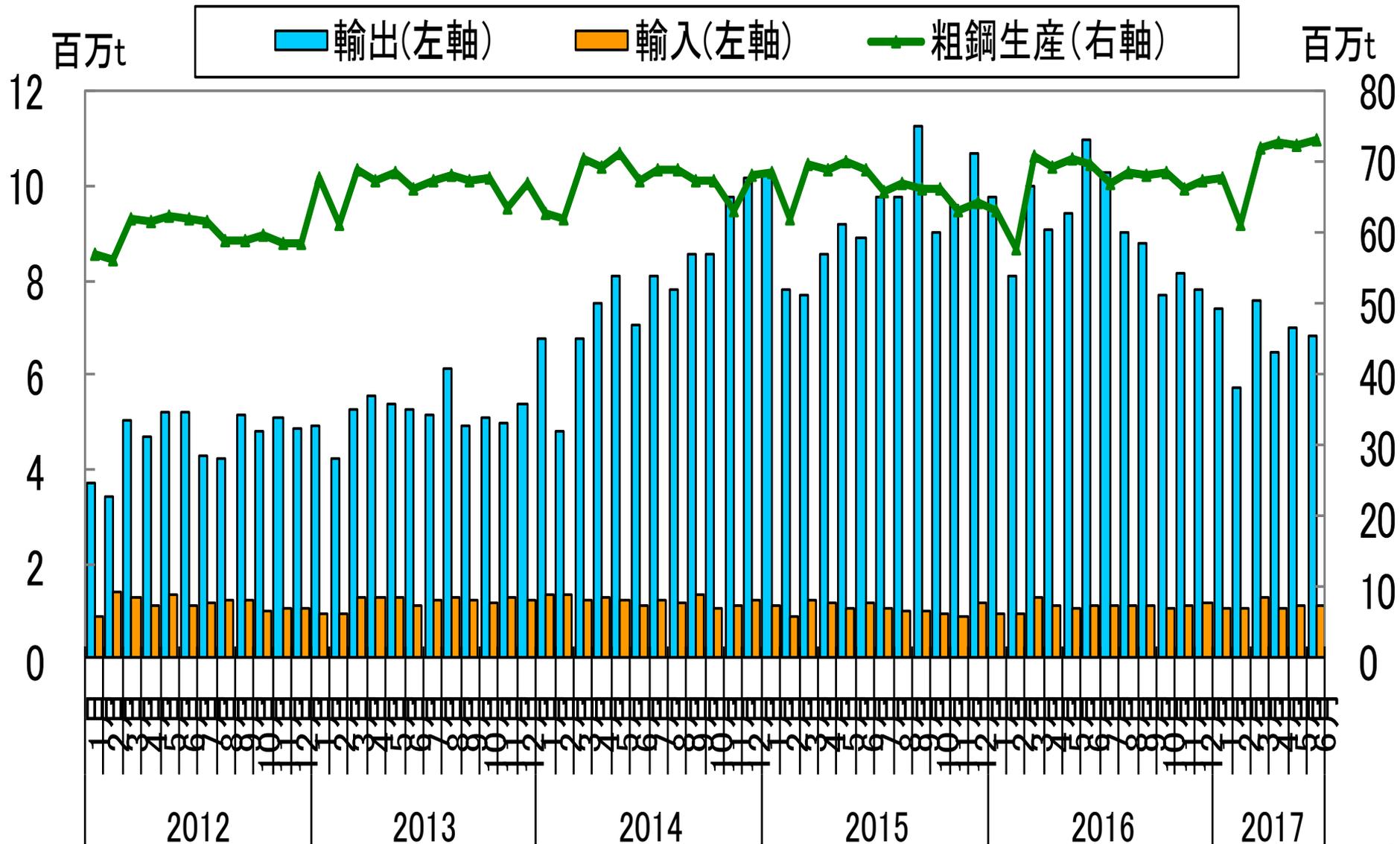
【中国薄板市況推移】



海外販売環境

中国粗鋼生産・輸出入

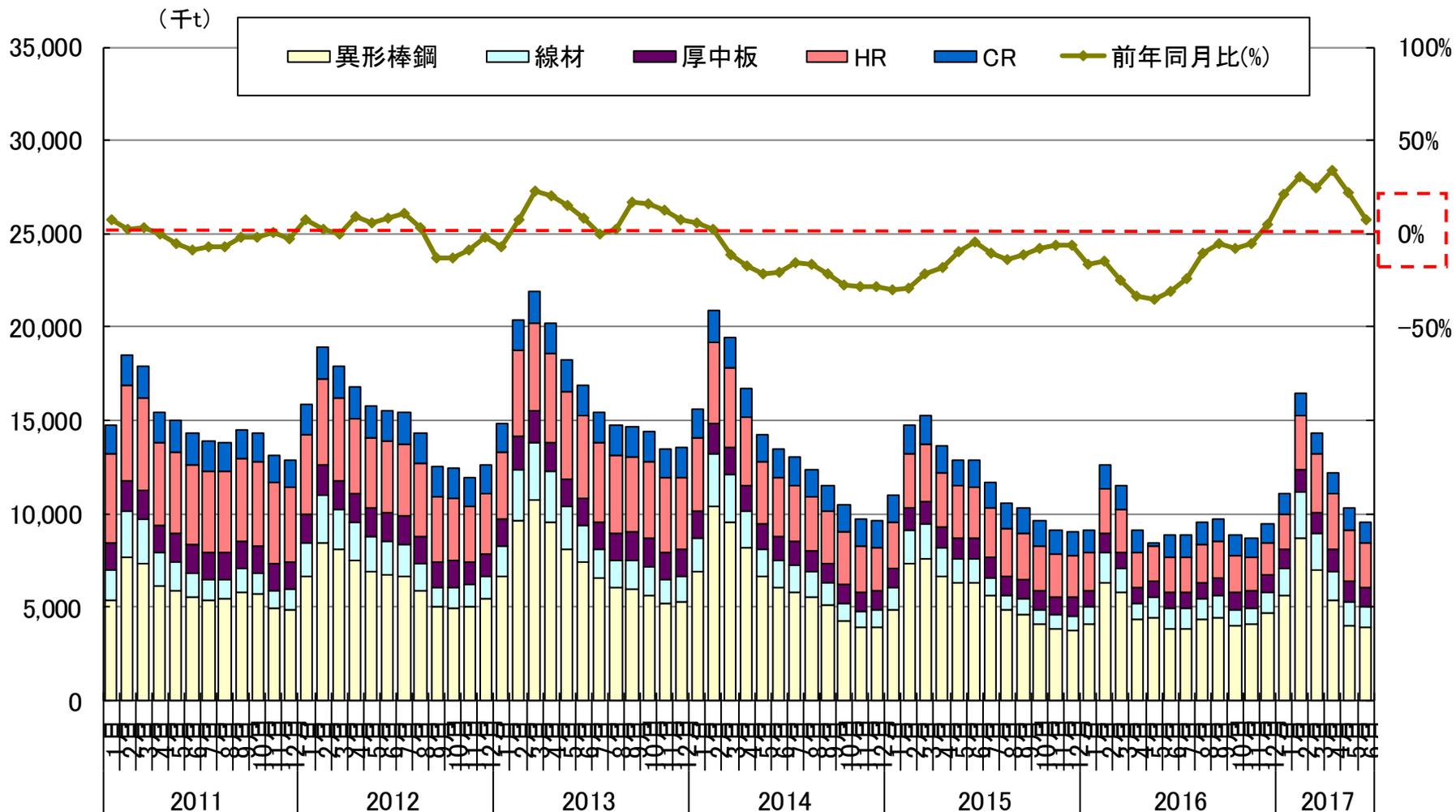
JFE

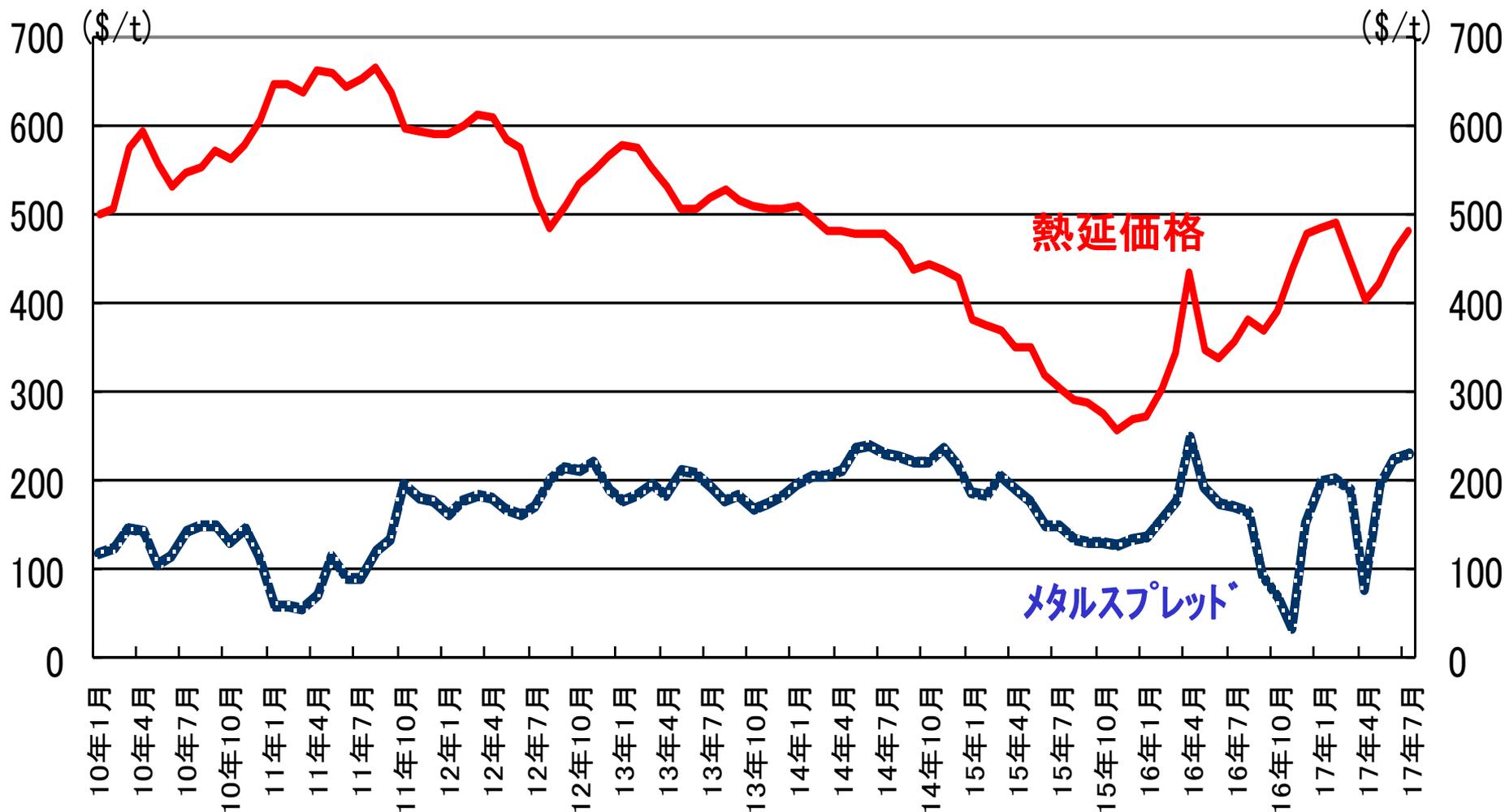


※1,2月粗鋼生産量はWSA推定

海外販売環境

中国品種別在庫数量





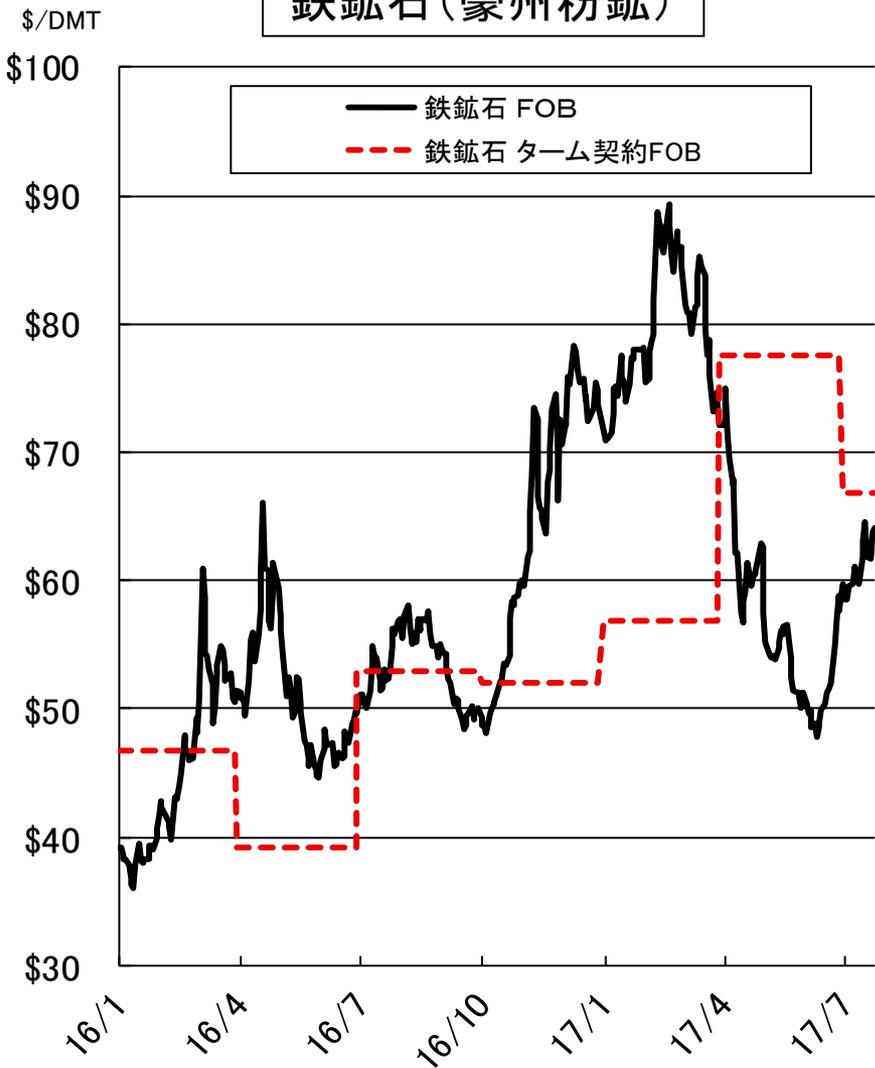
メタルスプレッド = 熱延価格 - 主原料コスト

※熱延価格: 中国21都市平均価格、主原料コスト: 粉鉱石、強粘炭国際スポット市況ベース

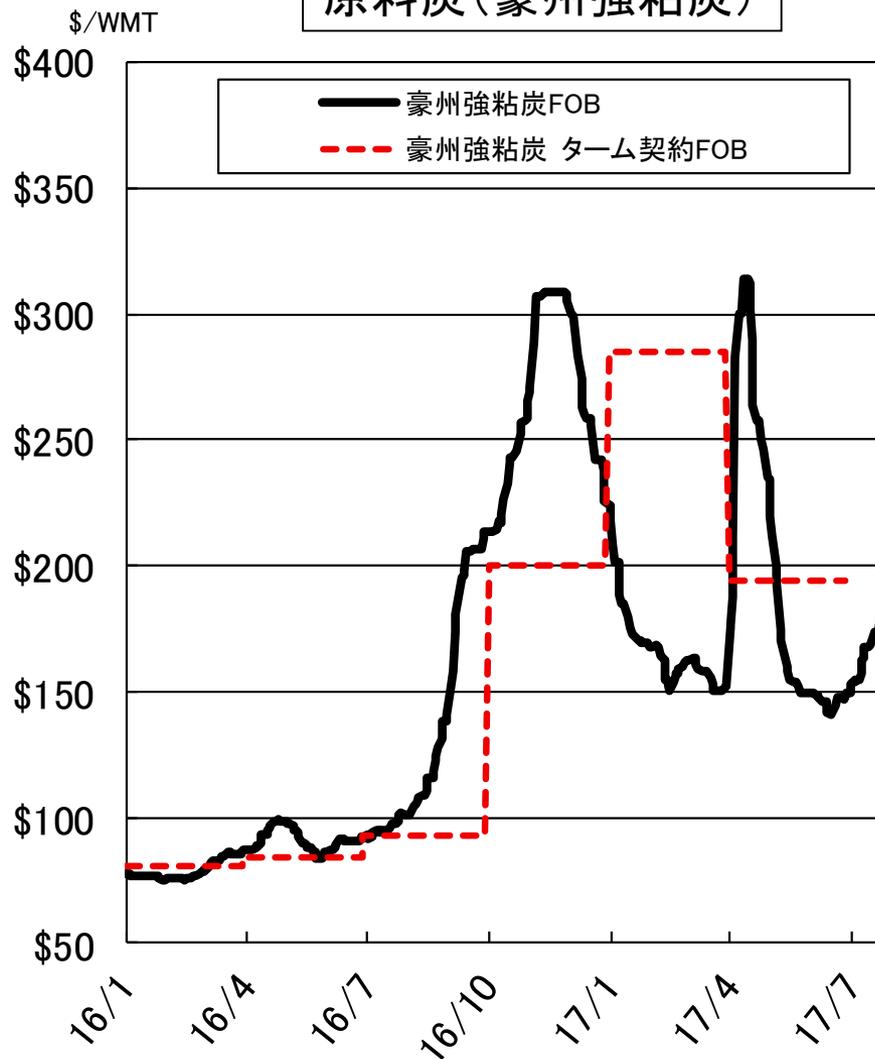


原料 主原料市況

鉄鉱石(豪州粉鉱)



原料炭(豪州強粘炭)



JFEスチール 2017年度業績見通し

JFE

	単位	2016年度	2017年度				
		年間 実績	1Q	2Q	上期	下期	年間 見通し
			実績	見通し	見通し	見通し	
売上高	億円	23,491	6,364	6,636	13,000		
経常利益 (ROS)	億円 (%)	405 (1.7%)	486 (7.6%)	364 (5.5%)	850 (6.5%)	650	1,500

単独粗鋼生産量	万t	2,814	712	740程度	1,450程度	1,450程度	2,900程度
連結粗鋼生産量	万t	3,041	753	780程度	1,530程度		
単独鋼材出荷量	万t	2,570	614	660程度	1,280程度		
鋼材輸出比率 (単独・金額ベース)	%	44.0	42.1	45程度	44程度		
鋼材平均価格	千円/t	62.8	74.4	74程度	74程度		
為替レート	円/ドル	108.8	111.5	111程度	111程度	110程度	

2017年4-6月⇒7-9月 連結経常利益 ▲122億円内訳

単位:億円

JFEスチール	2017年度(見通し)			差異 4-6月→ 7-9月
	4-6月	7-9月	上期	
経常利益	486	364	850	▲ 122

- 数量・構成 + 50
- 販価・原料 + 200
- 棚卸資産評価差等 ▲ 210
- その他 ▲ 162



基盤整備推進に伴う償却費・廃却費増
受取配当金の季節差 等

合計 ▲ 122

2016年度下期⇒2017年度上期連結経常利益 +201億円内訳



単位:億円

JFEスチール	2016年度下期 実績	2017年度上期 見通し	差異 2016下→2017上
経常利益	649	850	+ 201

- コスト削減 + 150
- 数量・構成 + 50
- 販価・原料 + 700
- 棚卸資産評価差等 ▲ 710
- 償却方法変更影響 + 110
- その他 ▲ 99



合金鉄等の副原料物価上昇
 基盤整備推進に伴う償却費・廃却費増加 等

合計 + 201

2017年度上期⇒下期連結経常利益 ▲200億円内訳

JFE

単位:億円

JFEスチール	2017年度見通し		1,500	上下差異 2017上→下 ▲ 200
	上期	下期		
経常利益	850	650		

- コスト削減 + 100
- 数量・構成 ± 0
- 販価・原料 + 100
- 棚卸資産評価差等 ▲ 200
- その他 ▲ 200



基盤整備推進に伴う償却費・廃却費増加
受取配当金の季節差 等

合計 ▲ 200

2017年度 連結経常利益 対前年+1,095億円内訳



単位:億円

JFEスチール	16年度 実績	17年度 見通し	年度差異 16→17
経常利益	405	1,500	+ 1,095

- コスト削減 + 450
- 数量・構成 + 150
- 販価・原料 +1,050
- 棚卸資産評価差等 ▲ 380
- 償却方法変更影響 + 280
- その他 ▲ 455

合金鉄等の副原料物価上昇
基盤整備推進に伴う償却費・廃却費増加 等

合計 + 1,095



JFEエンジニアリング 2017年度 業績見通し



JFE

JFEエンジニアリング

JFEエンジニアリング 2017年度業績見通し

対前年度

(億円)

	2016年度実績		2017年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
受注高	1,869	4,244	2,400		+531	
売上高	1,753	4,261	1,600		▲153	
経常利益	76	266	15	250	▲61	▲16

【主な増減要因】

(16年度上期実績vs17年度上期見通し)

受注高 +531 環境分野、エネルギー分野の大型案件増加

売上高 ▲153 大型案件減に伴う減少

経常利益 ▲61 売上高減に伴う減少・案件構成差等



JFE

JFEエンジニアリング 受注内容

JFEエンジニアリング

(単位:億円)

分野	2016年度 上期実績	2017年度 上期見通し	増減	2017年度第1四半期 主な受注内容
環境	891	1,070	+179	廃棄物処理施設 基幹改良工事(盛岡) 廃棄物処理施設 新設工事(目黒)
エネルギー	531	770	+239	長距離パイプライン建設工事
社会 インフラ 他	447	560	+113	滑走路保安施設 基礎工事等 橋梁新設工事 コンテナクレーン更新工事 船舶用バラスト水処理システム(商品名:バラストエース)3隻分
合計	1,869	2,400	+531	

海外の浄水場更新工事を初受注

(2017年6月12日公表)

フィリピン国最大の浄水場更新工事を受注

- マニラ首都圏人口の半分相当(約600万人分)の水量を処理
- 政府支援(ODA)無し・競争入札を経て受注

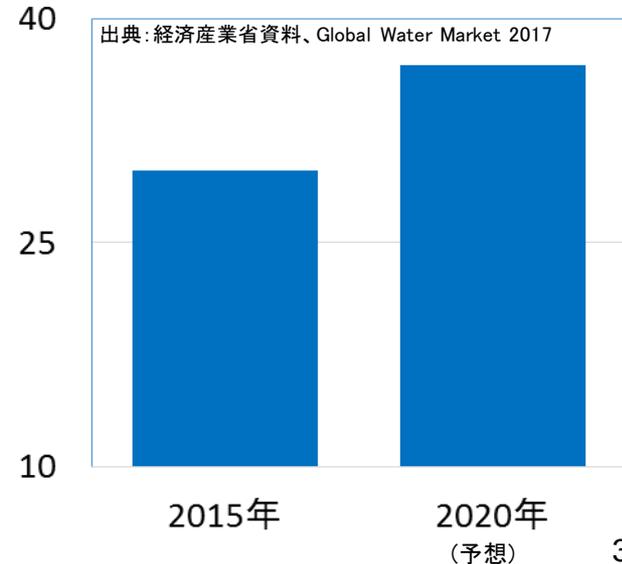
(入札時に評価された点)

- ✓ 日本国内最大規模の浄水場更新工事の実績
- ✓ フィリピン国での約30件の下水処理施設工事の実績



都市化の進行に伴い拡大が見込まれるアジアの水ビジネス市場において、上下水道プラントニーズを捕捉し、さらなる事業拡大を図る。

(兆円) アジアの水ビジネスの市場規模推移



【受注案件概要】

工事場所	フィリピン国マニラ首都圏ケソン市
受注金額	約100億円(案件全体)
処理量	150万m ³ /日
工期	2017年5月～2020年3月
施工範囲	凝集沈殿池、ろ過池の設備更新と躯体補修汚泥処理施設新設、運転管理棟補修 他

JFE商事 2017年度 業績見通し



JFE商事 2017年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2016年度実績		2017年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
売上高	7,758	16,710	9,050		+1,292	
経常利益	76	218	150	280	+74	+62

【経常利益の主な増減要因】

(16年度上期実績vs17年度上期見通し)

- ・販売単価の改善、および主に海外グループ会社の収益改善により増益

(参考)JFE商事 セグメント別売上高見通し

JFE

(億円)

		2016年度 上期実績		2017年度 上期見通し		増減	
国内		4,169		5,039		+870	
海外	輸出	1,786	2,897	2,117	3,621	+331	+724
	海外事業	1,111		1,504		+393	
その他(原材料・資機材・調整額他)		692		390		▲302	
合計		7,758		9,050		+1,292	



JFEホールディングス 2017年度 業績見通し



2017年度業績見通し

JFE

対前年度

(億円)

	2016年度実績		2017年度見通し		増減 上期	増減 年間
	上期	年間	上期	年間		
売上高(a)	14,995	33,089	17,000		2,005	
営業利益	40	967	1,000		960	
営業外損益	▲141	▲120	0		141	
経常利益(b)	▲101	847	1,000	2,000	1,101	1,153
特別損益	35	207	200	200	165	▲7
税前利益	▲65	1,054	1,200	2,200	1,265	1,146
税・非支配株主損益	▲18	▲375	▲350	▲700	▲332	▲325
親会社株主帰属 当期純利益	▲84	679	850	1,500	934	821
ROS (b/a)	▲0.7%	2.6%	5.9%		6.6%	



JFE

一過性要因前経常利益 (JFEホールディングス連結)

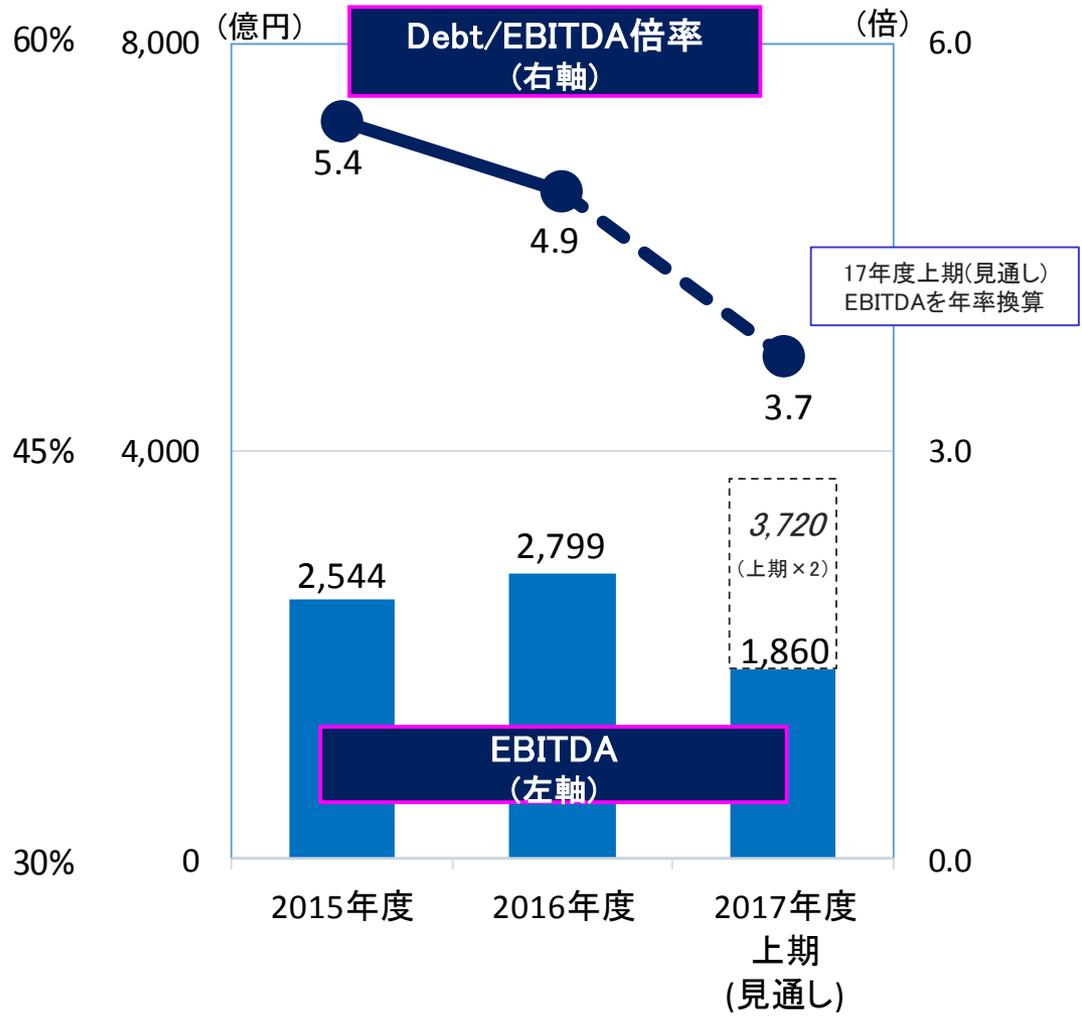
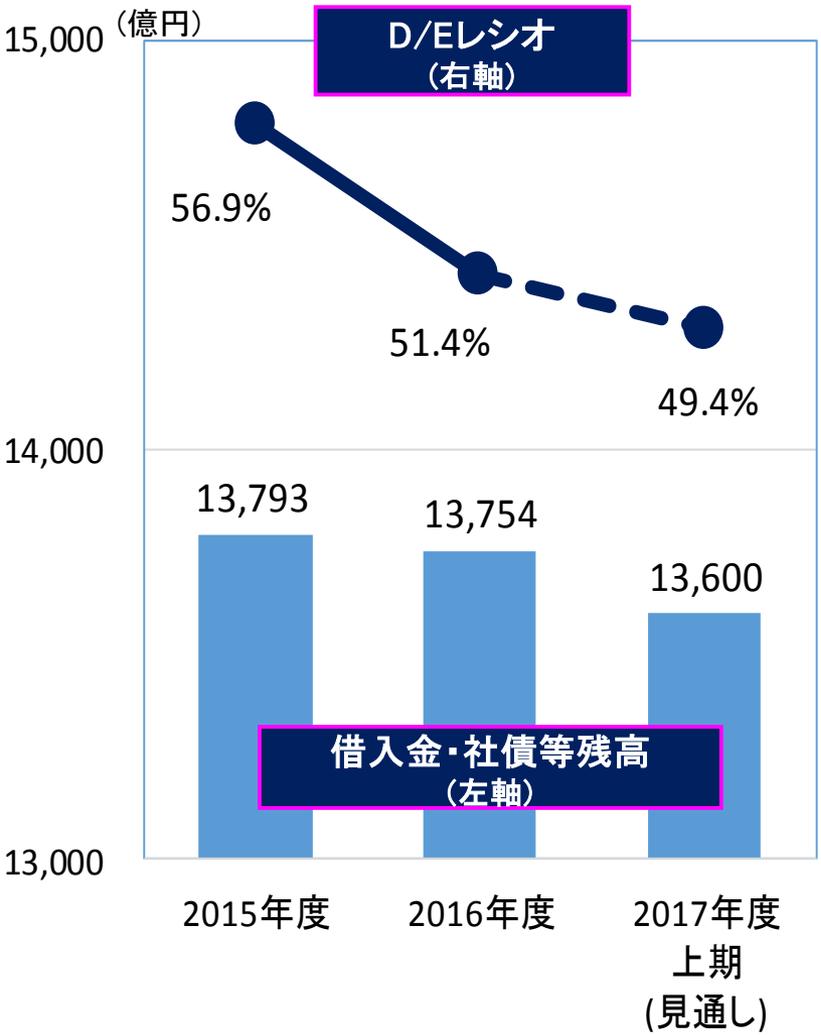
(億円)

	2016年度 実績			2017年度 概算
		上期 概算	下期 概算	
売上高	33,089	17,000	-	-
経常利益	847	1,000	1,000	2,000
ROS	2.6%	5.9%	-	-
一過性要因	280	50	▲150	▲100
一過性要因前経常利益	567	950	1,150	2,100
ROS	1.7%	5.6%	-	-



JFE

借入金・社債等残高、D/Eレシオ、Debt/EBITDA倍率の推移



■ D/Eレシオ=借入金・社債等残高/自己資本 但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債について、格付機関の評価により資本に算入

■ EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費
 ■ Debt/EBITDA倍率=借入金・社債等残高/EBITDA

配当について

配当について

- 当期の中間配当については、1株当たり30円とする方針を取締役会において決議いたしました。
- 期末の配当については、今後、業績動向を見極めつつ検討することとしており、未定としております。

参考資料

主な財務関連データ

(見通し)

年度	'03	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	17上期
【主要財務指標】(億円、%)												
経常利益	2,183	5,029	4,005	692	1,658	529	522	1,736	2,310	642	847	1,000
EBITDA ※1	4,323	7,414	6,708	3,371	4,289	3,063	2,606	3,689	4,215	2,544	2,799	1,860
ROS ※2	8.8%	14.2%	10.2%	2.4%	5.2%	1.7%	1.6%	4.7%	6.0%	1.9%	2.6%	5.9%
ROE ※3	15.9%	17.5%	13.7%	3.3%	4.1%	-2.6%	2.7%	6.3%	7.7%	1.8%	3.7%	9.0%
ROA ※4	6.5%	13.0%	10.0%	2.2%	4.6%	1.7%	1.6%	4.5%	5.5%	1.7%	2.3%	4.9%
借入金・社債等残高 (期末)	18,374	12,819	17,687	14,684	14,964	15,936	15,963	15,340	15,017	13,793	13,754	13,600
D/Eレシオ ※5	246.2%	61.4%	98.9%	75.5%	76.5%	83.5%	76.9%	67.9%	59.0%	56.9%	51.4%	49.4%
【1株当たり情報】(円/株、%)												
親会社株主に帰属 する当期純利益	185.8	450.5	355.6	86.3	110.7	-68.7	71.2	177.4	241.6	58.4	117.8	147.4
配当金	30	120	90	20	35	20	20	40	60	30	30	(※) 30
配当性向	16.1%	26.6%	25.3%	23.2%	31.6%	-	28.1%	22.5%	24.8%	51.4%	25.5%	20.4%

※1 EBITDA: 経常利益+支払利息+減価償却費

※2 ROS: 経常利益/売上高

※3 ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益/自己資本 上期ROE: 親会社株主に帰属する当期純利益×2/自己資本

※4 ROA: (経常利益+支払利息)/総資産 上期ROA: (経常利益+支払利息)×2/総資産

※5 D/Eレシオ: 借入金・社債等残高/自己資本 但し、格付け評価上の資本性を併せ持つ負債※について、格付機関の評価により資本に算入。

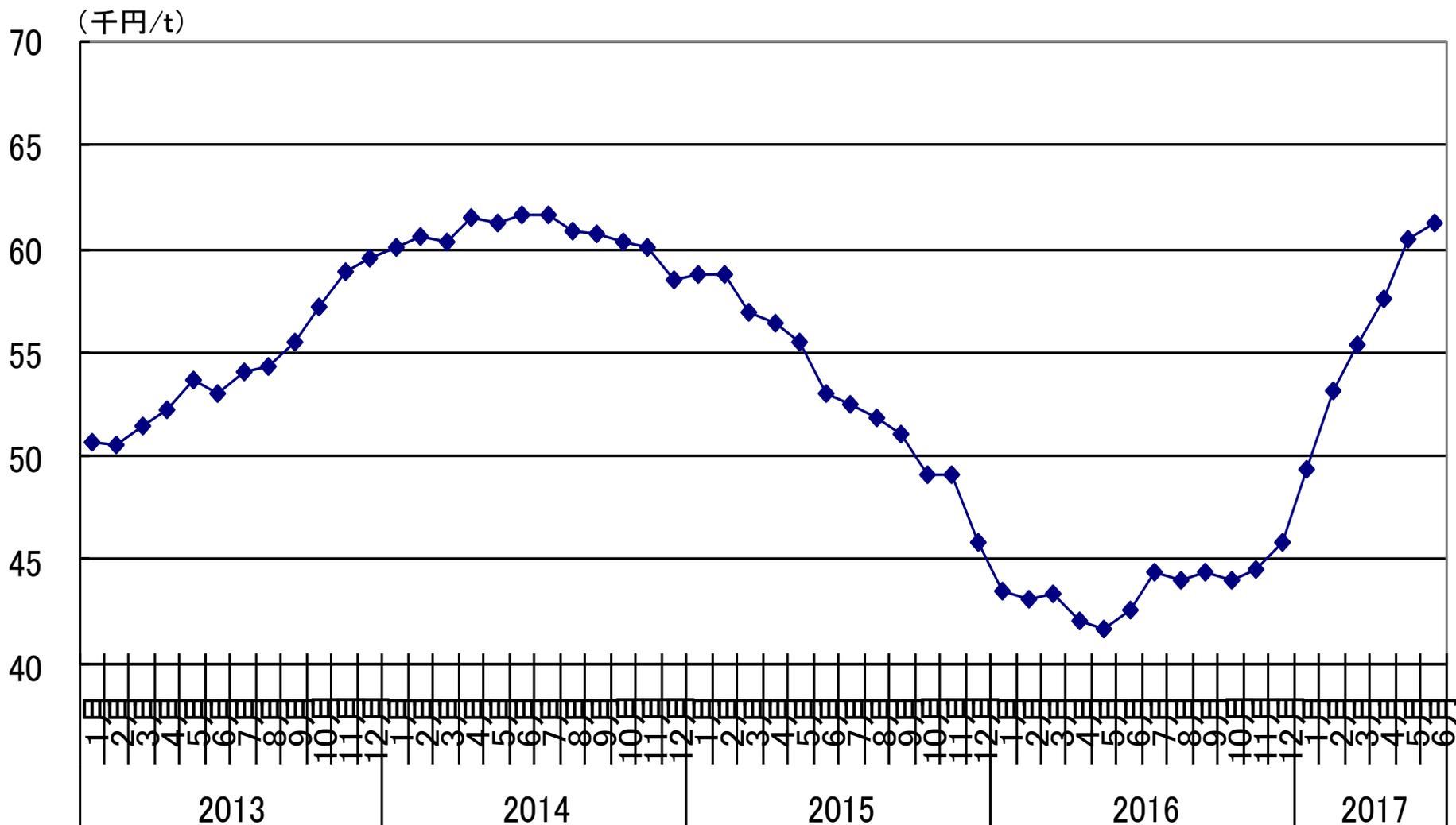
※資本性を併せ持つ負債(劣後特約付ローン)

(※)予定

借入実行日	借入金額 (億円)	資本性評価 (%)	資本算入額 (億円)
2013年3月18日	3,000	75%	2,250
2016年6月30日	2,000	25%	500

国内販売環境

輸入鋼材価格

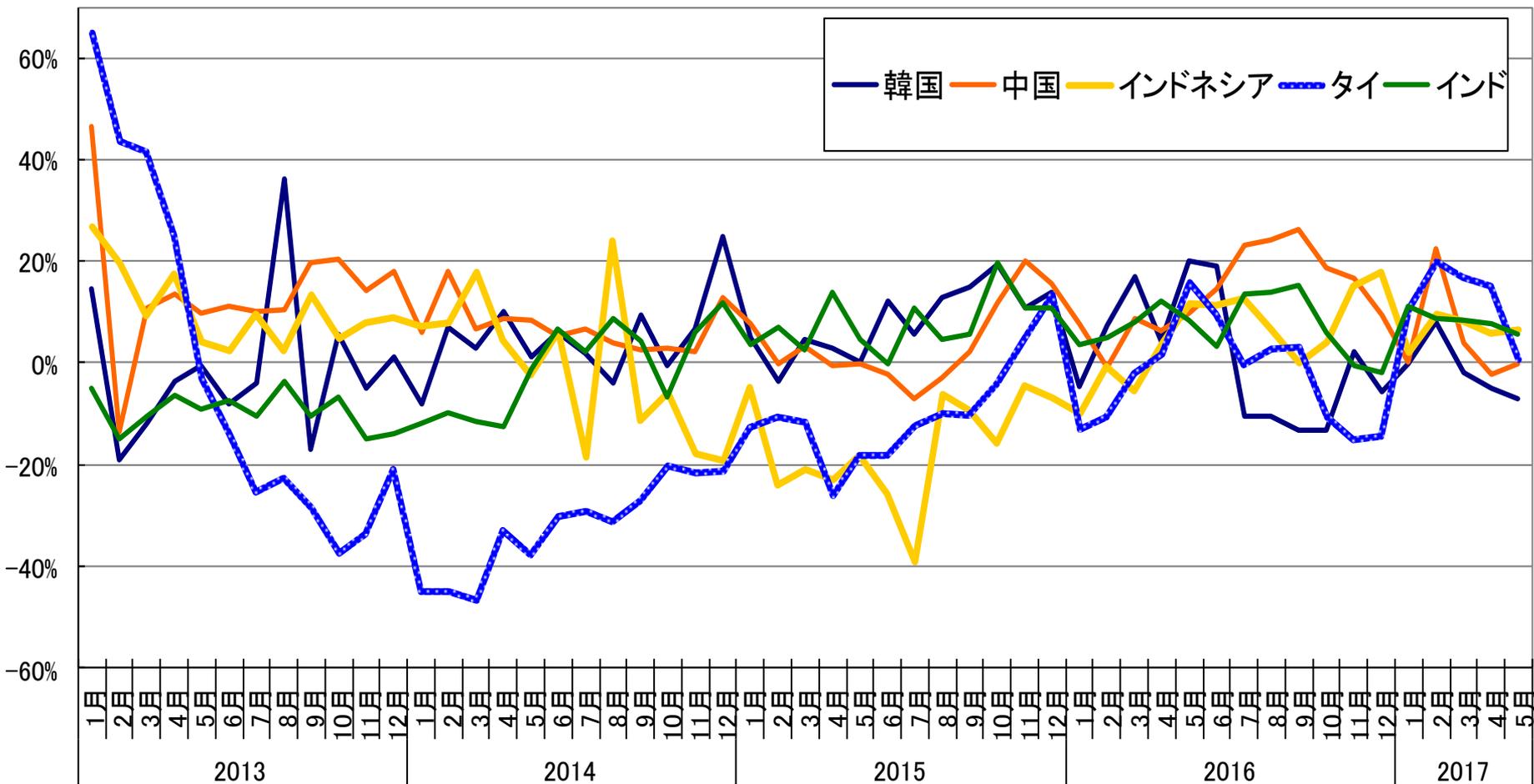


日本鉄鋼連盟データより作成(韓国から輸入の熱延広幅帯鋼)

海外販売環境

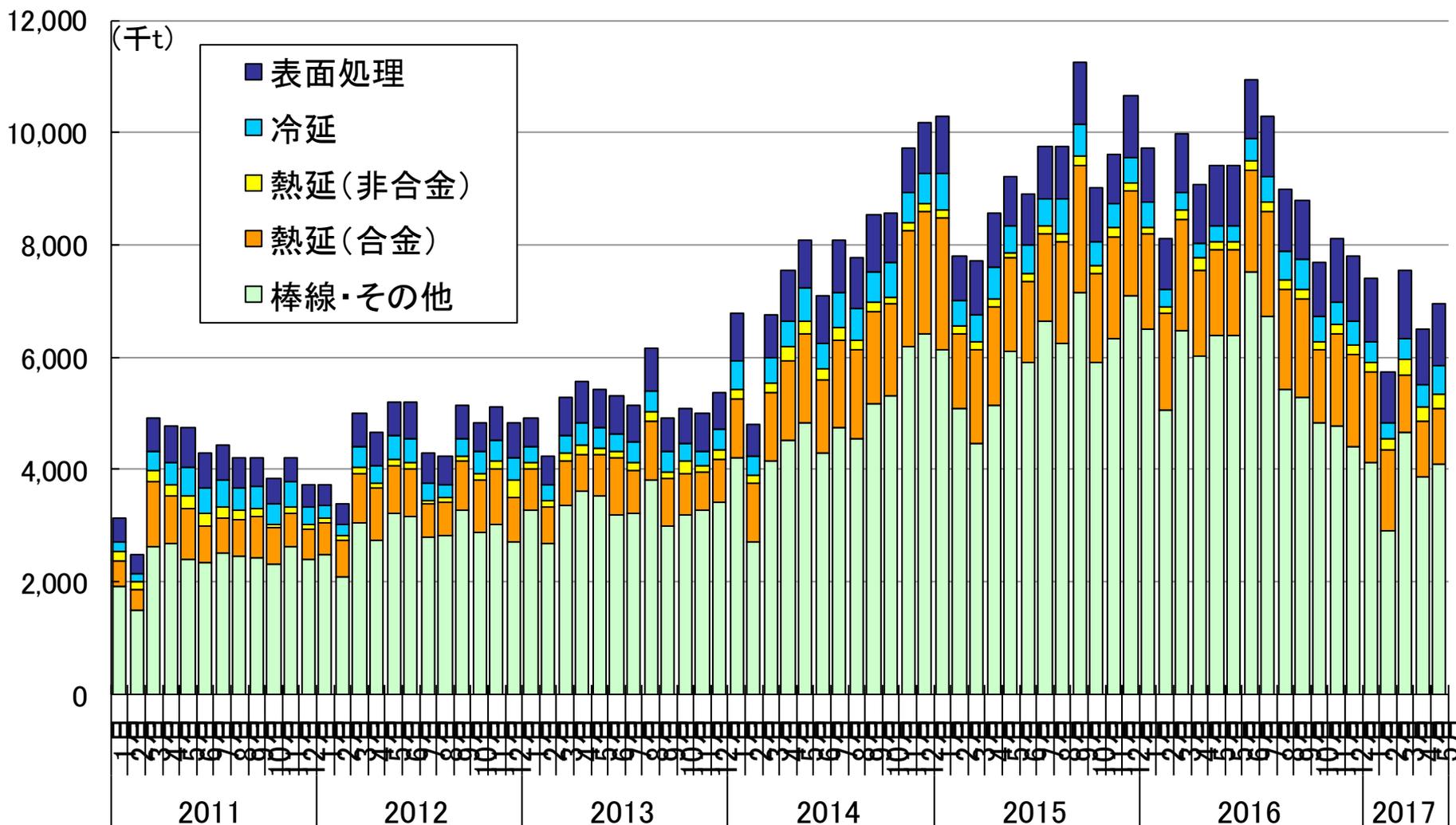
主要国自動車販売

自動車販売台数(対前年同月比)



海外販売環境

中国輸出(品種別)

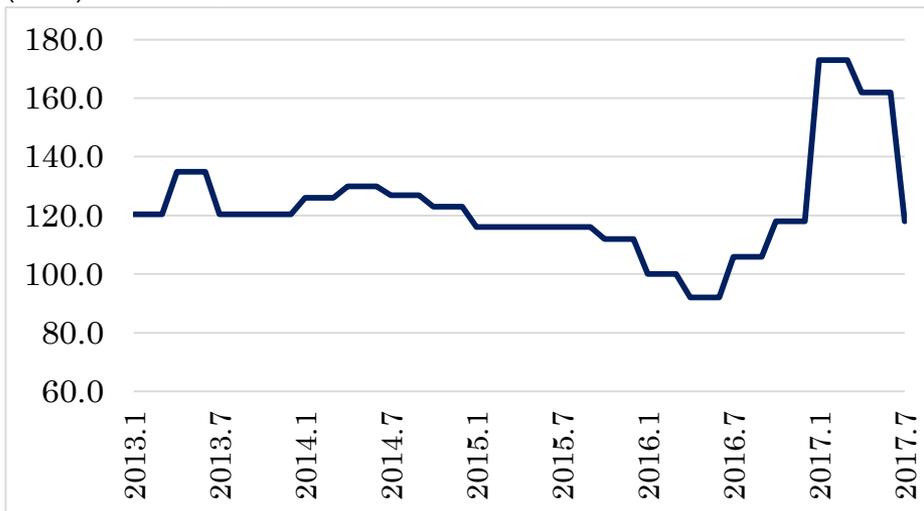


原料

金属市況推移

JFE

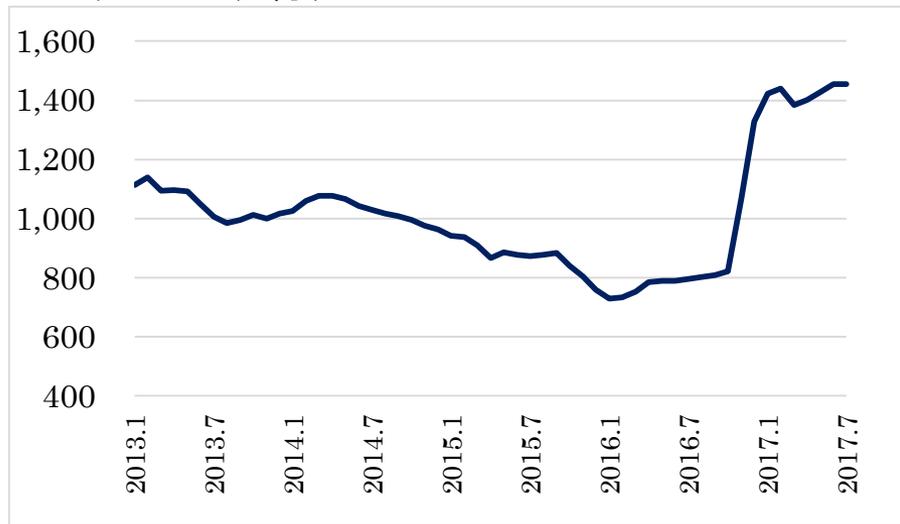
(¢/lb) フェロクロム



(US\$/t) 亜鉛



(US\$/t) フェロマンガン



(US\$/lb) モリブデン



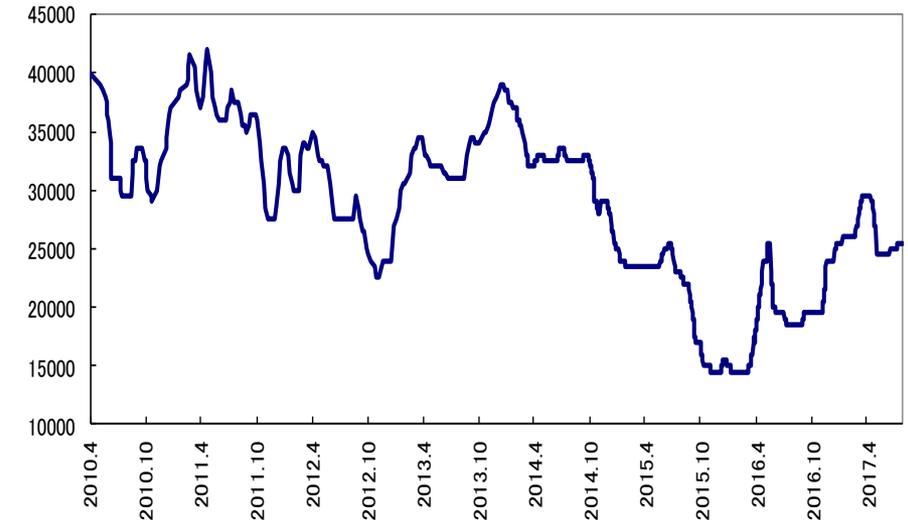


原料

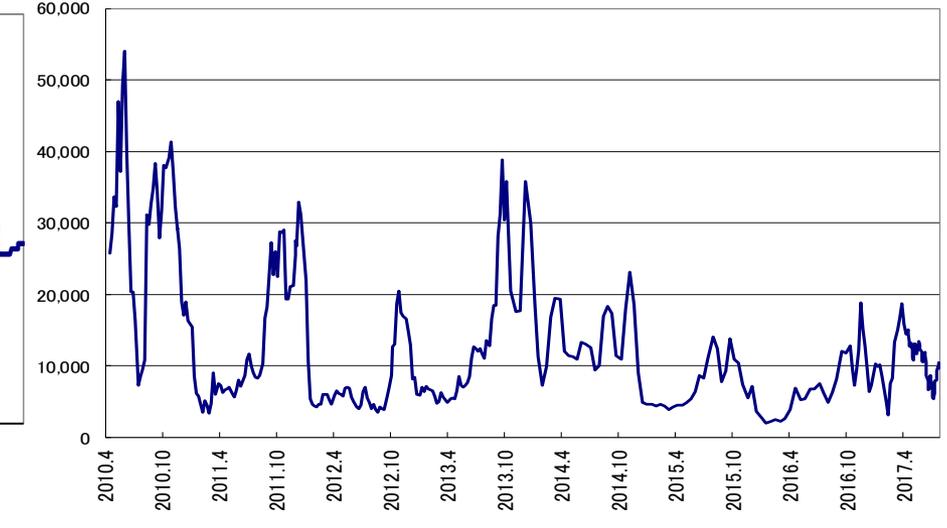
その他原料市況推移

JFE

(円/t)スクラップ市況



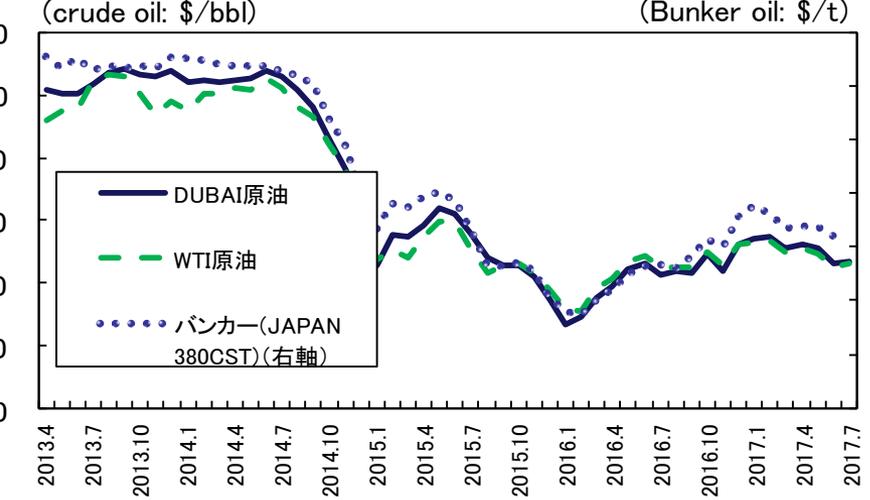
(\$/B) スポット傭船市況



(円/t) LNG市況



原油・バンカー市況

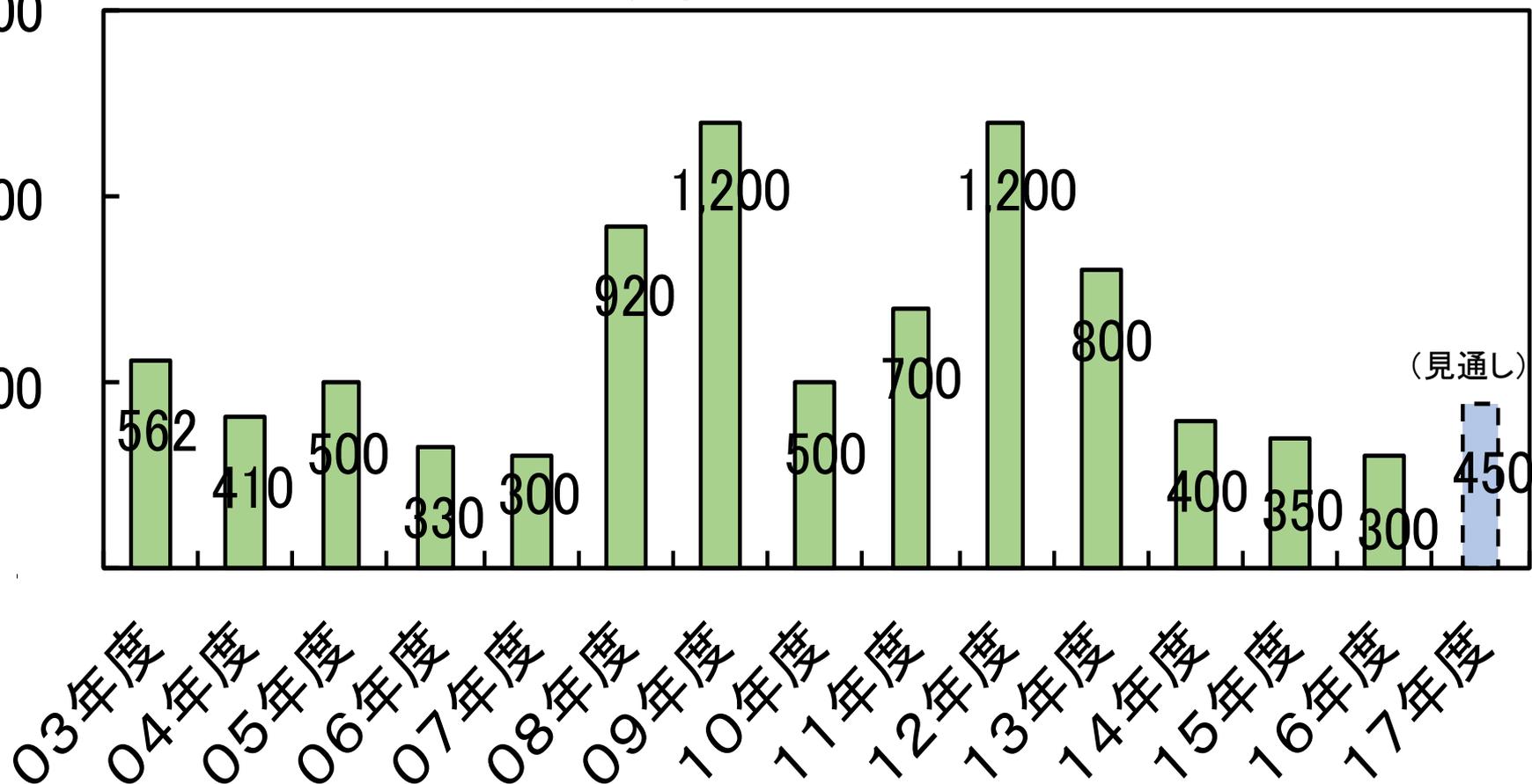


コスト削減推移(鉄鋼事業)

JFE

(億円)
1,500

コスト削減額推移(JFEスチール発足以降)



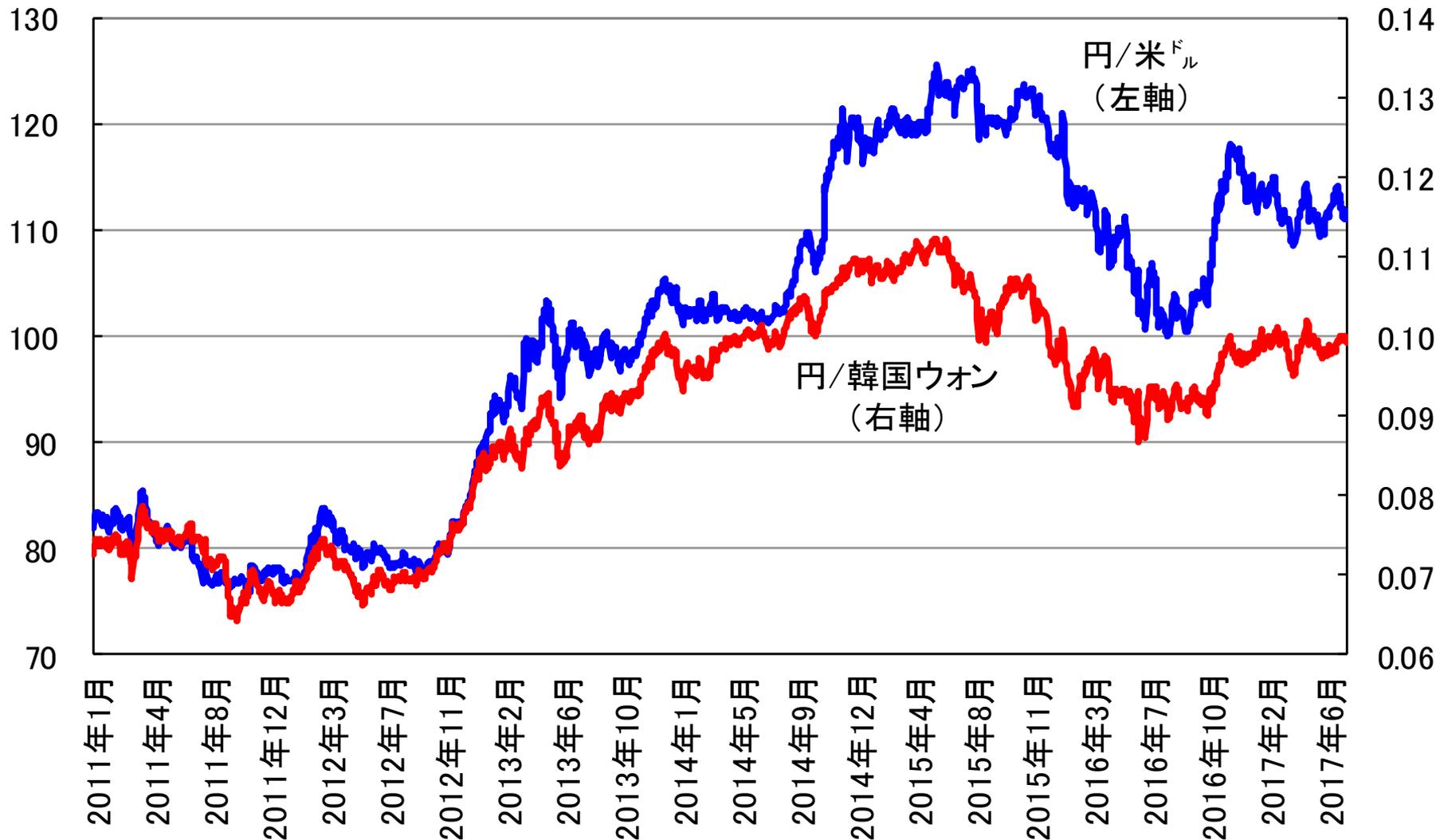
為替レート推移(対米ドル、対韓国ウォン)



JFE

(円/米ドル)

(円/韓国ウォン)



連結経常利益 +689億円内訳

単位:億円

JFEスチール	2016年 4-6月	2016年 7-9月	2016年 10-12月	2017年 1-3月	2017年 4-6月	対前年 同期比
経常利益	▲ 203	▲ 41	380	269	486	+ 689

■ コスト削減	+	90
■ 数量・構成	+	80
■ 販価・原料	▲	110
■ 棚卸資産評価差等	+	540
■ 償却方法変更影響	+	42
■ その他	+	47
合計	+	689

第5次中期経営計画の取組み状況



国内製造基盤整備の推進状況

国内設備投資6,500億円の計画は、16年度までに70%以上を意思決定し推進中

＜主な設備投資案件の進捗＞

			5次中期					
工程	地区	設備	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
上工程	倉敷	第3コークス炉		2016年1月稼働				
	倉敷	第2コークス炉		2017年3月稼働		西日本でコークス自給体制化		
	千葉	第6コークス炉A団		2016年10月稼働				
	千葉	第6コークス炉B団		18年度上期 (稼働予定)	東日本でコークス自給体制化			
	福山	第3焼結機			19年度中 (稼働予定)			
熱延	倉敷	5号加熱炉		2017年3月稼働		新設による熱延生産能力増強 40万トン/月⇒50万トン/月		
エネルギー	千葉	西発電所4号機	2015年7月稼働					
	京浜	扇島火力発電所1号機		19年度下期 (稼働予定)				
システム		製鉄所基幹システム(第I期)		18年度下期 (完成予定)				

上記に加え、重点的な設備補修を継続的に実施中

稼働済
 今後稼働予定



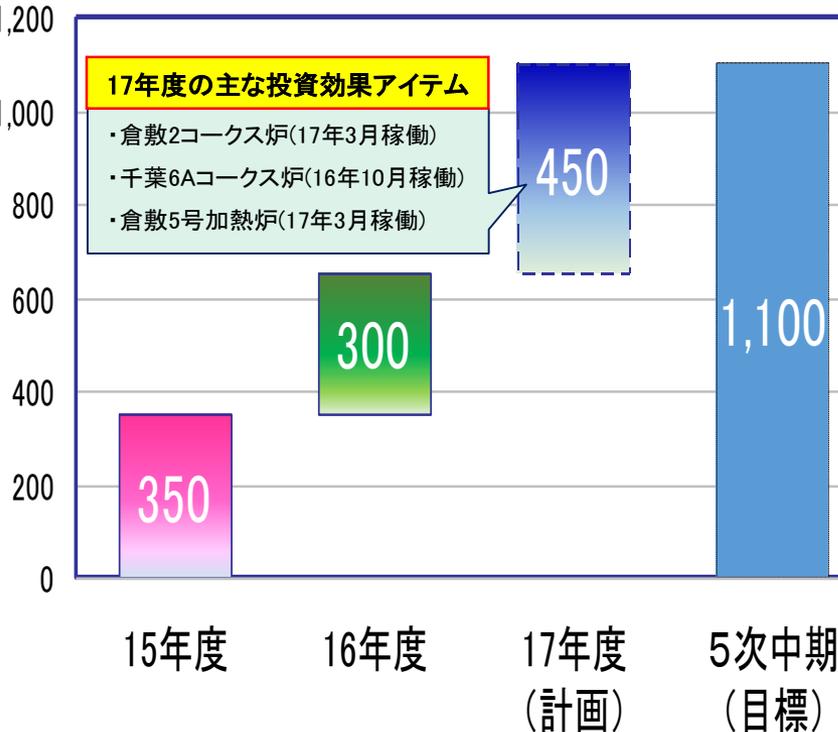
コスト削減の進捗状況

JFE

3カ年累計コスト削減1,100億円は、投資効果の回収を中心に計画通り実現予定

コスト削減の推移

(億円)



主な投資効果

コークス炉更新

- コークス自給率向上
- 副生ガスの回収量向上によるエネルギーコスト削減

倉敷5号加熱炉新設

- 熱延生産能力増強 (40万ト/月 ⇒ 50万ト/月)
- 能力増強によるプロダクトミックスの向上
- エネルギー効率改善 (従来比 +10~20%)

発電所更新

- 高効率発電による省エネ推進

【焼結機増設について-福山第3焼結機-】 2019年度中稼働予定

(2017年3月30日公表)

◆ 焼結生産能力増強 (従来比3割強) によるコスト削減

- 外部購入ペレットの駆逐
- 焼結鉞使用拡大による高炉の安定操業を通じた、コークス使用量削減



海外事業投資の推進状況

自動車を中心とした重点分野の強化、及び中長期的視点に立った成長投資

重点分野	アジア			NAFTA	MENA
	中国	東南アジア	西南アジア		
自動車 グローバル調達 対応徹底	・GJSS (CGL) ・JJP (自動車用鋼管) ・BJCMX (鉄粉)	・JSGT (タイCGL) ・JSGI (インドネシアCGL)	・JSW (インド)	・NJSM (メキシコCGL) ・AK Steel (米国)	・17年6月 鋳入れ式 ・2019年 稼働予定 2018年 稼働予定
エネルギー 需要地にて 事業展開	・BHNK	・JFE-TC (シンガポール)	宝武鋼鉄集団との 合併 2018年稼働予定	・CSI (米国) ・Benoit (米国)	・AL GHARBIA (UAE ラインパイプ)
インフラ・建材 アジアにターゲット絞り 事業展開		ベトナム ・J-Spiral (鋼管杭、 鋼管矢板) ・A&J (建材加工) ・GECOSS VN (建材仮設リース)			・Kandil (エジプト 冷延、CGL)
海外鉄源 JFEプラント4000 への一歩		・Formosa Ha Tinh Steel (FHS)	17年5月 第1高炉火入れ	<div style="border: 2px solid blue; padding: 5px; display: inline-block;"> 5次中期 の重点地域 </div>	



JFE

Copyright © 2017 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved

本資料の無断複製・転載・webサイトへのアップロード等はおやめ下さい